

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

日立半導体技術情報

〒100-0004
 東京都千代田区大手町2丁目6番2号
 (日本ビル)
 TEL (03)5201-5112 (ダイヤルイン)
 株式会社 日立製作所 半導体グループ

製品分類	マイクロプロセッサ	発行番号	TN-SH7-460A	Rev.	第1版
題名	パイプライン動作についての補足	情報分類	1. 仕様変更 ②. ドキュメント訂正追加等 3. 使用上の注意事項 4. マスク変更 5. ライン変更		
適用製品	SH-3,SH-3E,SH3-DSP	対象ロット等	SH-3,SH-3E,SH3-DSP プログラミングマニュアル 第4版 ADJ-602-120C	有効期限	
		全ロット		永年	
関連資料					

パイプライン動作とクロック数の計算方法に関して以下の注意事項を追加します。

外部メモリアクセスが発生したステージの処理に必要なステート数(システムクロックサイクル数)は、バスステートコントローラ(BSC)で設定したメモリアクセスのステート数に加え、アイドルサイクルの分が多くなる場合があります。

すなわち、

- 1) 論理アドレスバスから物理アドレスバスへのデータ受け渡し、
- 2) 異なる動作クロックのバス間のデータ受け渡し、

があるので、外部バス上でも観測されるアイドルサイクルが発生する可能性があります。

なお、外部メモリアクセスが発生するステージは、一部の命令フェッチ(IF)または一部のメモリアクセス(MA)です。

以上